

ひるの

議会だより



決算認定、前年比27%減少

予算の内容が復旧から復興へ

②

予算の成果と検証を次年度に反映(定例会質疑)⑥

ふるさと納税や町内生活環境整備など 8議員が町政を問う(一般質問)⑱

園児みんなで楽しいすべり台!

(ニッ沼総合公園遊具リニューアル)

No.123

平成26年10月17日発行

福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

平成25年度決算を認定

9月定例会

124億円

復旧から復興へ

9月定例会

一般会計は、約101億1033万円、特別会計は、国民健康保険など6会計合わせて約23億6168万円となり、合計約124億7201万円の歳出決算となりました。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約12億1061万円上回る、約136億8262万円となりました。

平成24年度決算額191億6374万円と比較すると27%の減少となります。



監査結果を述べる黒田監査委員

平成25年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものと認められました。

監査委員からの指摘

平成26年9月定例会を9月16日から19日までの会期で開きました。

今回は、平成26年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平

成25年度の一般会計および6つの特別会計を認定しましたが、東日本大震災の影響や、今後の財政運営や経費削減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

なお、一般質問では、8人の議員が、それぞれ町の対応や考えをいただきました。

広野町の財政状況は、依然として東京電力(株)広野火力発電所における大規模償却資産税への依存度が高い状況にあります。

しかし、大規模償却資産税は年々大幅に減少し、22年度から引き続き普通交付税の交付団体となっています。

平成26年度は、一時的に大規模償却資産分の大幅な税収が見込めますが、その他の税

収増は、厳しいものがあります。

今後、保健事業や福祉事業等の成果を再検証するとともに、事業の見直しを図るなど、予防医療、予防介護の充実・拡充に努めて疾病を未然に防ぎ、結果的に歳出の削減につながるような施策を積極的に展開されることを望みます。



完成間近な小松橋

平成25年度決算

4つの健全化判断比率でチェック

指 標	内 容	広野町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債比率	年間の借金返済額の割合	15.5%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	17.6%	350%

危険信号



起立による決算認定のようす



広野町の財政の健全性を表す指標は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は良好とされています。

平成25年度歳入・歳出決算額

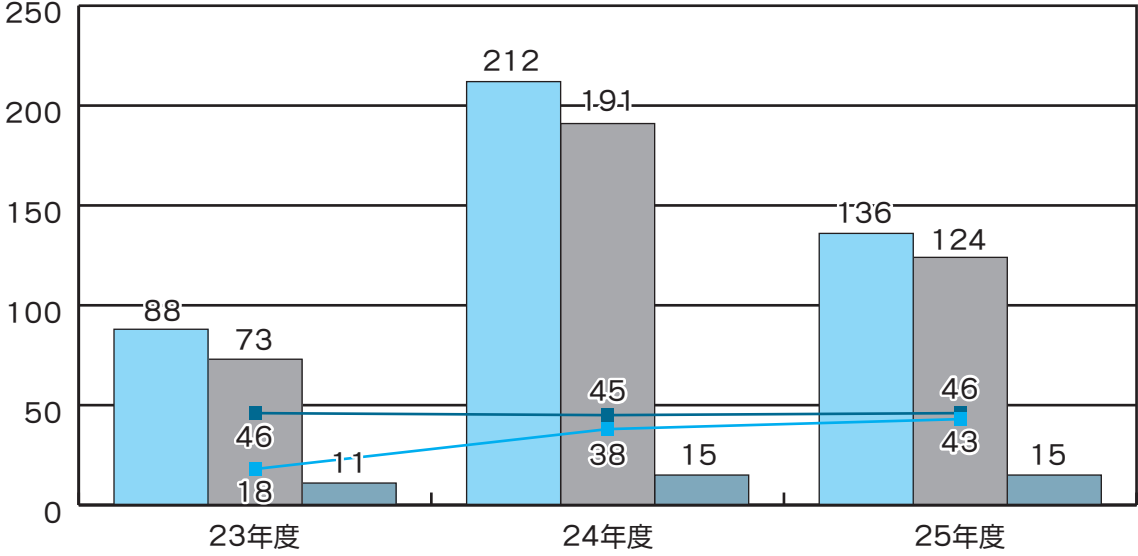
〈金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。〉

会 計 名		決 算 額		収入未済額 (税金等の滞納)	採決の状況
		歳入（収入）	歳出（支出）		
一 般 会 計		112億 799万円	101億1033万円	2億4384万円	全員賛成で認定
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	9億6799万円	9億4605万円	7738万円	〃
	土 地 開 発 事 業	3億6977万円	3億4184万円	0円	〃
	公 共 下 水 道 事 業	6億 524万円	5億8124万円	425万円	〃
	農 業 集 落 排 水 事 業	3156万円	2634万円	143万円	〃
	介 護 保 険	4億8697万円	4億5329万円	317万円	〃
	後 期 高 齢 者 医 療	1308万円	1289万円	9万円	〃
	小 計	24億7463万円	23億6168万円	8632万円	
合 計		136億8262万円	124億7201万円	※3億3018万円	

※国庫補助金と県補助金の翌年度繰越事業に充当する6616万円が含まれています。

一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

(単位：億円)



歳入 (収入) 歳出 (支出) 町税 積立金 (町の預金) 町債 (町の借金)

一般会計・特別会計

歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

(単位：億円)

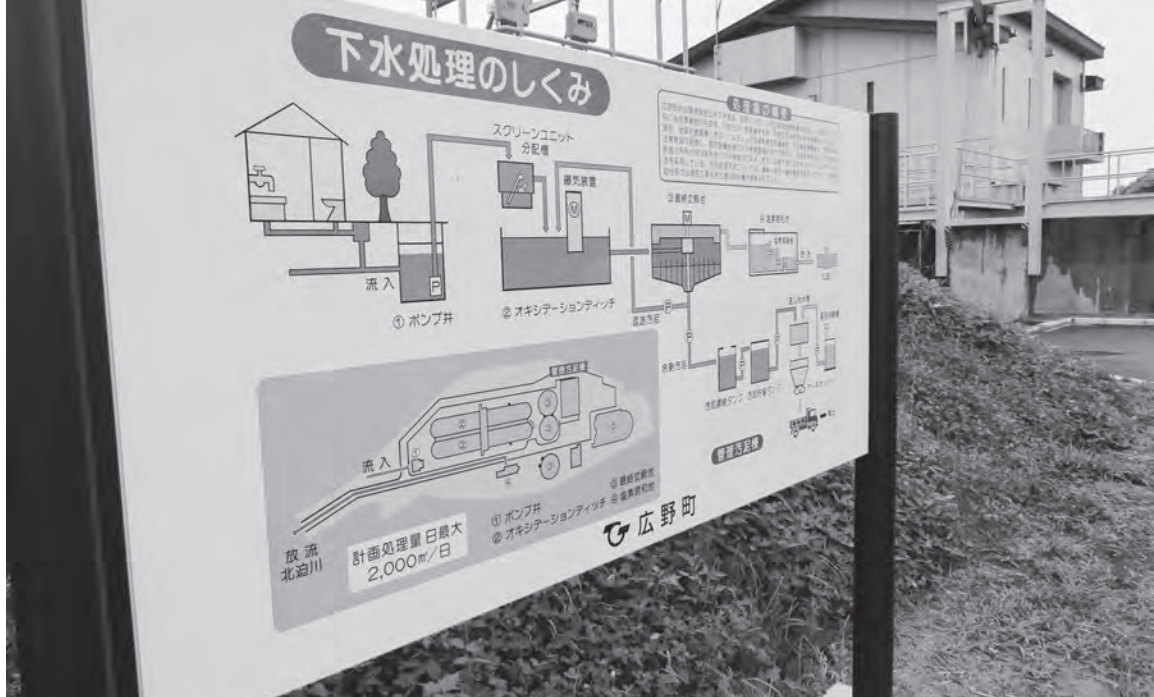
	歳入 (収入)	歳出 (支出)	町税	積立金 (町の預金)	町債 (町の借金)
23年度	88	73	11	18	46
24年度	212	191	15	38	45
25年度	136	124	15	43	46

〈金額は全て千円以下を切り捨てて表示〉

町民1人当たりの金額

歳入 264万円
歳出 241万円
預金 112万円
借金 89万円

平成26年10月1日人口5143人で算出



公平な負担が求められる下水道使用料

不納欠損処理の理由は

渡辺久長議員 下水道
処理事業で4万4000円の
不納欠損がありましたが、どのよう
な理由で処理したのですか。

坂本建設課長 この不納欠損は、下水道使用料で水道企業団も上水道使用料金を不納欠損している状況にあるため、企業団と協議し処理しました。

借入金の残額はいくらず、何年残っているのか

坂本紀一議員 下水道事業で借入金返済はあと何年残っていて、残額はいくらずですか。

坂本建設課長 下水道事業の借入金返済は、平成40年ころまでで、残額は約13億円です。

毎時0・23マイクロシーベルト以下を堅持せよ

門馬巧議員 南山牛削蹄場跡地、県道広野小高線高萩、高速バス利用者駐車場の3カ所はいずれも0・23を上げています。県有地の駐車場は早急に除染を要請すべきではないですか。

中津除染対策課長 南山牛削蹄場跡地、県道広野小高線高萩の2カ所は数値が改善されています。しかし、高速バス利用者駐車場は県有地のため草刈り程度で除染が完了したと県が判断していますので、徹底した除染が行われるように協議しています。



以前は高速バス利用者駐車場だった県有地

きちっと事業は行われているのか

北郷幹夫議員 介護予防事業費で167万1000円という予算現額で、予防事業には力を入れるべきです。

補正予算を組んでおいて結果的に5万8000円しか使っていないということはどういった理由ですか。

※介護認定を受ける可能性が高い方

鈴木福祉介護課長 こ

れは地域支援事業費にかかる介護予防費であり、※特定高齢者の介護予防ができなかったという事で、一般の介護予防に関しては実施しています。

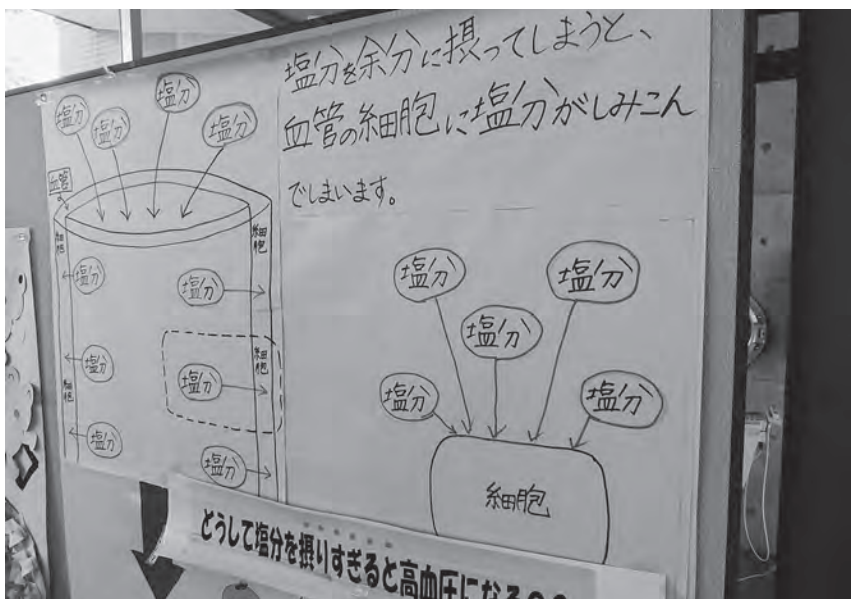


健康づくりには運動が大切

検証結果は反映されているのか

塩 史子議員 保健事業や福祉事業等の成果を再検証することにも事業の見直しを図るなど、25年度の決算を踏まえて26年度はこのような新しい事業・施策を講じてますか。

青木町民保健課長 減塩対策や肥満対策を講じるため、先進地の西会津町に保健師と生活改善推進委員を派遣し、それらの成果をふまえて次年度に反映します。



糖分や塩分の対策を呼びかける

職員の特殊勤務手当を改正

原子力災害応急業務に従事する職員の特殊勤務手当の業務適用範囲が、国や県にならい、より詳細になりました。

原子力応急業務の昨年の実績は

北郷幹夫議員 町職員が原子力災害応急業務に従事した昨年の実績と内容はどのようなものですか。

大和田総務課長 県で廃炉作業を監視する業務の委員に町職員がなっています。昨年度は燃料棒の取り出しの確認作業がありました。

福島第一原子力発電所の敷地内における業務	免震重要棟の外	①原子炉建屋内	1日	40,000円
		②故障等設備確認	1日	20,000円
		①及び②以外	1日	13,300円
	免震重要棟の内		1日	3,300円
帰還困難区域における業務	屋外	4時間以上	1日	6,600円
		4時間未満	1日	3,960円
	屋内		1日	1,330円
居住制限区域における業務	屋外	4時間以上	1日	3,300円
		4時間未満	1日	1,980円
	屋内		1日	660円

さらなる復興の加速化へ

全会一致で可決

財政調整基金積立金(町の貯金)など **17億3464万円**を追加補正

今回補正は、財政調整基金積立金（町の貯金）や住宅改善事業の内容となりました。
これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ14億6869万円追加され、総額で164億2958万円となりました。

補正の結果

会計名	補正額	(補正後の予算額)
一 般	14 億 6869 万円	(164 億 2958 万円)
国民健康保険特別	3724 万円	(10 億 2103 万円)
土地開発事業特別	9905 万円	(11 億 6191 万円)
公共下水道事業特別	9416 万円	(4 億 261 万円)
介護保険特別	3532 万円	(4 億 9529 万円)
後期高齢者医療特別	18 万円	(4549 万円)

主な内容

○財政調整基金積立（町の貯金）	10 億 1273 万円
○し尿塵芥処理費（災害廃棄物処理など）	2 億 9136 万円
○除染対策費（ため池の線量調査など）	4480 万円
○放射線健康不安等相談事業（講師による相談など）	1200 万円

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。



3月に行われた広野駅での避難訓練

渡邊正俊議員 原子力災害避難マニュアルが配布されていますが、ただ知らせるだけでなく、さまざまな災害に真剣に向き合い防災訓練を実施すべきではないですか。

遠藤町長 住民の安全安心を守るために計画にもとづいて訓練しなければ役に立ちません。11月5日には津波被災の避難訓練を行いました。今後、石油化学コンビナートの訓練や水防訓練などをはじめ防災訓練を計画的にすすめていきます。

さまざまな災害に対する防災訓練を実施せよ

北郷幹夫議員 ため池の除染は、全ての箇所を除染するのですか。それとも高線量の箇所だけ除染するのですか。

中津除染対策課長 町としてのセシウムが検出した場合にはすべて底質土壌を取り払うよう、また時期は農作業に支障のないよう強く要望していきます。

ため池の除染調査の時期は

また、水田の関係で工事期間が限られると思いますがいかがですか。



調査が行われる予定の二ツ沼

門馬まりえ議員 放射線健康不安相談にあたる講師の職種は線健康不安相談にあたる講師はどんな職種の人を考えていますか。

中津除染対策課長 除染に関する検証委員会は大学の先生、医師、看護師、放射線技師等の専門家を考えています。

放射線健康不安相談にあたる講師の職種は



町内の放射線量を示すモニタリングポスト

こんなことが決まりました

不採択

集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化しないことを求める請願書

【紹介議員】
畑中 大子

討論の結果、賛成 3、反対 8 で不採択となりました。

駅東側の造成工事請負契約や常磐線広野・木戸間久保田こ道橋新設工事契約金額の変更を可決しました。
内容は次のとおりです。

工事の名称

広野駅東側第1期開発整備区域用地造成工事

施行場所

下浅見川字広長地内他

工事請負代金

3億4344万円

請負者

田中・西本特定建設工事企業体



現在は整備地区の除染が行われる

工事委託の名称（変更なし）

常磐線広野・木戸間久保田こ道橋新設工事(全体協定)

施行場所（変更なし）

下北迫字久保田地内

全体協定の金額

4億3333万円を
4億1419万9181円
に変更
(1913万819円の減額)

【理由】保安費などの減少によるもの

請負者（変更なし）

東日本旅客鉄道株式会社

工事委託の名称（変更なし）

常磐線広野・木戸間久保田こ道橋新設工事（平成26年度協定）

施行場所（変更なし）

下北迫字久保田地内

全体協定の金額

1億7150万円を
1億5236万9181円
に変更
(1913万819円の減額)

【理由】保安費などの減少によるもの

請負者（変更なし）

東日本旅客鉄道株式会社

工事の名称（変更なし）

二ツ沼総合公園遊具更新事業

施行場所（変更なし）

二ツ沼総合公園内

工事請負代金

9397万5000円を
9793万8720円に変更
(396万3720円の増額)
【理由】張芝の面積が増えたため

請負者（変更なし）

西本建設株式会社

討論

賛成 反対

紛争解決と平和安定には法整備必要

小磯 利雄

どの国も一国のみで平和を守ることができず、国際社会も我が国が国力にふさわしい形で積極的な役割を果たすことが求められています。安全保障環境の変化に対応し、政府として責任を果たすため

にも、十分な体制を持つて力強い外交を推進することにより安定した国際環境をつくり、国際法にのっとり行動し、紛争の平和的な解決と安定にこれまで以上に積極的に貢献するためにも可能とする国内

法制を整備しなければなりません。

遠藤 浩
門馬 まりえ
北郷 幹夫
渡邊 正俊
黒田 政徳
渡辺 久長
坂本 紀一

戦争に参戦しやすくしようとしている

門馬 巧

かつて我が国の先人たちが大東亜共栄圏構想の国策にもとづく侵略戦争で多くの国へ迷惑をかけたこと。また、310万ともいわれる同胞を失った反省から戦後69年、歴代内閣が一貫

して堅持してきたこの平和憲法を国際貢献の名のもとに時の政府の解釈改憲で戦争に参戦しやすくしようとするまさに将来の我が国のありようを決するこの重大事を看過してよいも

のでしょうか。私はそうは思いません。

畑中 大子
塩 史子

採択

国に対し「東日本大震災の被災者に対する援助のための日本司法支援センターの業務の特例に関する法律」の有効期限を延長する立法措置を求める意見書

提出者 塩 史子
賛成者 坂本 紀一
門馬 巧
小磯 利雄

【要旨】

国に対して、法テラスの業務有効期限の延長を求めるものです。

現行法のままだと、平成27年3月31日で効力が失われ、被災者や被害者の生活再建に水を差しかねません。
広野町議会として、有効期限の延長を求めます。

工事の名称
久保～川原田線道路新設工事
施行場所
下浅見川字久保地内他
工事金額
6 6 9 6 万円
請負者
西本建設株式会社

工事の名称
上北迫岩沢地区仮々置場整備工事
施行場所
上北迫字岩沢地内
工事金額
1 億 5 1 2 0 万円
請負者
田中・山田特定建設工事共同企業体

工事の名称
広野中学校体育館修繕事業（その2：工事）
施行場所
下浅見川字築地12番地地内
工事金額
6 9 6 6 万円
請負者
常磐開発・西本建設特定建設工事共同企業体

工事の名称
広野町中央体育館改修工事
施行場所
中央台1丁目地内
工事金額
1 億 9 5 4 8 万円
請負者
加地和・五社山特定建設工事共同企業体

第4回臨時会

仮設宿泊施設を無償貸し付け 宿泊施設の解消・郡内復興に協力

財産の無償貸付を可決

8月22日に第4回臨時議会を開きました。仮設宿泊施設の無償貸し付けを審議し、全会一致で可決しました。

この仮設宿泊施設は中小企業基盤整備機構が整備し、町に無償譲渡されたものです。

町は、双葉郡の復興に協力するため、富岡地区旅館組合の有志が設立した株式会社フタバドリームプロジェクトにこの施設を無償で貸し付けるものです。

質疑では、施設の管理や貸付の契約期間について意見が出されました。

郡内町村の議員定数はどうか

人口：平成26年9月～10月の間に各町村が発表したもの

	広野町	楢葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村
人口	5,143	7,474	15,307	2,757	10,879	6,386	19,174	1,499
改正前数	14	14	16	12	16	12	20	10
最終改正年	H26.10.1	H26.10.1	H26.10.1	H26.9.19	H26.10.1	H26.10.1	H26.8.31	H26.10.1
現在定数	12	12	14	10	14	8	16	8

議会では、議員定数に関する特別委員会を設置し、議論を重ねています。（詳細はP16委員会報告をご覧ください）

双葉郡内の議員定数状況をまとめました。

第3回臨時会

再生可能エネルギーを導入 災害時の必要電力を確保

【補正の結果】

会計	補正額	補正後の額
一般会計	3 0 9 9 万円	1 4 9 億 6 0 8 9 万円

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。



太陽光パネルが設置される庁舎屋上

11議案を
全会一致で可決

7月23日に第3回臨時議会を開きました。再生可能エネルギー導入工事や中央体育館の改修工事などの議案を全会一致で可決しました。

根本 珠美さん
(大字上浅見川)



教育委員会委員

人事案件に同意

教育委員会委員に根本珠美さんを任命することに同意しました。

工事の名称
広野町役場庁舎再生可能エネルギー導入工事
施行場所
下北迫苗代替地内
工事金額
5 7 7 8 万円
請負者
有限会社猪狩電設工業

工事の名称
町営住宅修繕工事（虻木団地）
施行場所
上浅見川字虻木地内
工事金額
7 4 5 2 万円
請負者
横山・西本特定建設工事共同企業体

工事の名称
広野小学校再生可能エネルギー導入工事
施行場所
中央台3丁目地内
工事金額
7 0 4 1 万 6 0 0 0 円
請負者
いわき電気工業株式会社

工事の名称
町営住宅修繕工事（大平団地）
施行場所
折木字大平地内
工事金額
1 億 4 1 4 8 万円
請負者
田中・五社山特定建設工事共同企業体

総務文教

住

民への説明をしっかりと復興に向けて造成事業

駅東側開発整備事業
1期・2期と災害公営住宅について、説明がありました。

計画に伴う住所移転の縛りについては検討することとした。
委員会として、丁寧な住民への説明と工期内の完成を提言しました。

選定委員選考はこれからであり、公募プロポーザル方式では委員の主観は入らない。2期工事地元説明会は再度行い、115戸造成

総務文教

帰

町人口増加につなげよ
帰町促進を図るための取り組み

町営住宅の修繕と災害公営住宅入居について説明がありました。

現在、町営住宅入居している方は、空住宅に移動をお願いし、光熱費は町負担を検討する。マリンコーポの現状は確認しているが、補助の対象には入らない状況であるとの説明でした。

委員会として、9月の災害公営住宅と町営住宅修繕完了により442人の帰町が可能になり2000人を超える帰町人口になる、しっかりと予定通り進めるよう提言しました。

総務文教

子

子どもたちの教育が優先
中高一貫校

町教育施設借用は相互協力・連携に関する協定より対応し、県は県立中学校の開校は明言していません。

町としては立ち位置をはっきりさせ、子どもたちが不利にならないよう最大限配慮するとの説明でありました。

委員会として、来春開校に向けた準備がスムーズに行き、31年度本校舎運用につながるよう提言しました。

なお、現在の広野中学校では、PTA組織化を要請していますが、町外通学等により厳しい状況との説明でした。



校庭で元気に体を動かす児童

委員会報告

状況を報告します。

委員会の活動

平成26年8月18日 開催

平成26年8月19日 開催

平成26年8月22日 開催

平成26年7月3日 開催

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
東日本大震災災害復興に関する特別委員会
議員定数に関する特別委員会



秋晴れのなか開催された幼稚園運動会



修繕される町営住宅

産業厚生

指

導・情報発信を適切に
平成26年産米の作付け

検査場への搬入出で200円／袋の助成金や除草剤に対する助成金、交差汚染防止対策の補助など質疑は、多岐にわたりました。

委員会は、昨年の実

績に勝るとも劣ることのない成果を上げることができるようなお一層の適宜適切な指導、情報発信を行うよう提言しました。

産業厚生

難

聴地域を解消せよ
防災行政無線（デジタル化）整備事業

現在の防災無線の屋外支局は、何カ所か。整備事業を1年先送りするが、27年度のいつ頃になるのか、などの質疑がありました。

現在の設備より電波状況と受信環境が改善

され、難聴地域が解消されるよう設計施工し、投資効果を図ることに最善を尽くすことを求めました。

産業厚生

具

体的な協議進捗は
ほ場整備事業

この事業に7地域が希望しているとのことだが、具体的な協議の進捗度合いはどうか。

ほ場整備事業と並行して就農者、受託者等の育成も図るべきである等々多岐にわたる質

疑がありました。

委員会は、本事業は当町の農家農地の将来を決する大事な事業であると考へ、全力を傾注して取り組むよう提言しました。

産業厚生

実

情を踏まえた減免措置を
国民健康保険及び介護保険における減免措置

介護保険で10月以後認定書を交付するとのことであるが、新たに認定を受けた場合交付までに多くの時間を要するの、などの質問をふまえ今後も町民福

祉の向上に寄与する施策を実践できるよう求めました。



刈り取りが進む26年産米

東日本特別

工程表に沿った業務推進を 減容化施設に係る進捗状況

環境省から、10万ベクレル/kgを超えるものは中間貯蔵施設に搬出し、10万ベクレル以下のものは富岡町の処分場（エコテッククリンセンター）に搬出する計画であるとの説明を受けました。

委員会は、仮設減容化処理施設の工程表に沿って業務を推進し処理完了時期が遅れることのないように求めました。

なお、減容化施設建設現場を委員全員で調査しました。



減容化施設建設に向けて整備が進む

東日本特別

義 援金配分案を了承 町義援金の配分

国・県からの2次義援金の追加配分があったことから、町義援金を加えて町民に対し1人当たり1万5000円を配分していきたいとの説明を受けました。

委員会は、町義援金の配分（案）を了承しました。

東日本特別

予 定の1/3の発電量でも事業を進めるのか ふくしま広野町メガソーラー発電

東北電力㈱の説明では、当該地域の接続連携に関して既に他業者からの本申込書が入っており、送電線の制約が発生することがわかり、結果として、広野町に対して連携可能容量として1999kWの申し込みに対して720kWを確保したとのことでした。町として720kWで進めたいとの説明を受けました。

委員会は、図面ができたあがった後、現地調査を含め説明を求めました。

定数特別

定 数削減はやむなしではないか 議員定数に関する意見

それぞれの委員が議員定数についてどう考えているか意見を述べてもらいました。

「定数削減が必ずしも最善の策ではない。」といった認識は持ちつつも、震災前と比べ人口が減少し、町民の帰還がなかなか進まない状況下では、削減やむなしといった意見が大勢を占めました。

委員会は、これらの意見を踏まえて定数削減の方向で協議を進めていくこととし、具体的な削減数についても次回委員会で協議し、早めに結論を出すことで意見が一致しました。



議員定数を協議

＜北海道登別市視察研修＞

北海道登別市 明日（あけび）中等教育学校（公立の中高一貫校）を視察
～双葉郡の未来を担う人材育成へつなげる～

総務文教 委員会



教育内容を学ぶ委員

知性・好奇心を湧かせる授業、生徒の運営による活気溢れる各種行事・部活動に対する真剣なまなざしと躍動する姿など学校に対する愛着と誇りを参観しました。

来春県立「ふたば未来学園」開校に向け準備が進められています。

卒業生がふるさと双葉を再建できる人材になることを願うものです。

今回の研修は「復興教育拠点としての心構え」を確認できる研修でした。

＜長野県川上村視察研修＞

長野県川上村ヘルシーパーク構想を学ぶ
～高齢者が安心して生活でき健康で生きがいのある生活するには～

産業厚生 委員会



課題や目標を質問する委員

川上村のヘルシーパーク構想は「村は屋根のない病院」をテーマに高度医療、自然環境、人間関係を大切に保健・福祉・医療・介護の一体化・一元化を図るための事業です。

今後、町の復興には保健師と管理栄養士の確保に努め健康づくりと疾病予防、介護予防、高齢者の生きがいづくりに力をいれること。

そして保健・福祉の情報共有と医師との連携を定期的に構築することが必要であると感じた研修でした。

＜岩手県金ヶ崎町議会広報編集特別委員会視察研修＞

第28回町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞
～町民と議会をつなぐ役割を再認識～

広報 委員会



お互いに編集内容を学ぶ研修

編集内容などは、議会の役割の特集記事、住民の登場記事を多く取り入れた紙面を作成しています。

これらが議会と住民をつなぐ広報紙の役割を果たしていると思われました。

これらに学び広野町議会広報編集も、町民の声を多く取り入れ掲載し、町民と議会をつなぐ身近な広報紙としてその役割を果たすべく委員一同さらなる編集技術の向上に努めなければならぬと、認識させられた研修でした。

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成26年3月定例会● 一般質問
遠藤 浩 議員

子どもたちの再会事業を開催せよ

子どもたちの絆を繋ぎとめる事業を実施して「空白となった子どもたちの記憶」を取り戻すことが重要ではないですか。

夏休みを利用して開催

夏休みなどを利用して同級生が一同に参加できるような事業を実施していきたいと思います。

集まれ！ひろのっこin広野小

8月9日、広野町にゆかりのある小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちが小学校に集まりました。

久しぶりの友人や先生との再会に笑顔が見えました。

また、思い出をつづった絆アルバムも作成予定です。



大勢の子どもたちと保護者が集まりました

8人の議員が町政を問う
一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

ふるさと納税を呼び込むための方策は

遠藤町長／礼状と冊子を送付

北郷

①東日本大震災後のふるさと納税の実績はどのくらいですか。

②ふるさと納税のお礼に新米などの特産品を贈って、税収の確保と町の魅力を全国にPRし、風評対策とするほか、町の活性化につなげるべきではないですか。

町長

①平成23年度に34件で41

0万円、平成24年度に15件で91万円、平成25年度に16件で66万円です。

②礼状と広野町の復興を伝える冊子などを送付することで感謝の気持ちを伝えたいと考えています。



町消防団（福島県消防協会双葉支部春季連合検閲式）

消防団員協力の会社に優遇制度を

遠藤町長／何らかの優遇が可能か検討

北郷

消防団員協力の会社に優遇

制度を取り入れて、働きながら消防団活動ができる環境づくりをする必要があると考えますが、消防団員の確保に向けた対策をどのように考えていますか。

町長

全国には消防団活動に協力し

ている事業所等を事業税減税などで支援している県もありますので、福島県でも優遇措置をするよう要望します。

あわせて町税でも何らかの優遇が可能か、また税制だけではなく他の方策も検討します。

写真付き住基カードをPRせよ

遠藤町長／周知、利用促進を図る

北郷

公的な証明書として、利用できる「写真付き住民基本台帳カード」の、

現在までの交付枚数は何枚ですか。

また、広報紙や町のホームページなどで広くPRし、町民サービスの向上を図るべきではないですか。

町長

平成15年8月の制度開始から本年9月2日までの間で交付した枚数は94枚で、このうち写真付き住民基本台帳カードは65枚です。

また、町広報紙、町ホームページへの掲載や戸籍係窓口での啓発など、周知利用促進を図りたいと思います。



北郷 幹夫 議員

写真付き

住民基本台帳カード

広野町

2024年1月1日

ひろばー

福島県双葉郡広野町大字下北迫
字西代路35番地



見本

必要事項を記入し、窓口へ申込が必要

ふるさと納税で経済効果を創出せよ

遠藤町長／特典は導入していない

塩

①過去3年間
23、24、25年
度、広野町に「ふるさと納税」はいく
らですか。

②広野町では多くの
方々に多くの寄附金を
していただけるように
あるいは、寄附をした
くなるような方策を考
えるべきではないです
か。

町長

①平成23年度に
34件で41

0万円、平成24年度に15
件で91万円、平成25年度
に16件で66万円です。

②札状と広野町の復興を
伝える冊子などを送付す
ることで感謝の気持ちを
伝えたいと考えています。



塩 史子 議員



コンパクト化が協議される広野駅舎

広野駅を改築せよ

遠藤町長／駅舎コンパクト化で協議

塩

広野町が双葉
郡の復興の玄
関口と名実ともに自信
をもつて言えるように
駅を改築するの今が
最良の時と考えます。

①駅舎はいつ建設さ
れ、こ線橋はいつ設置
されましたか。

②帰還者JR利用運賃
助成事業の利用状況は
どうですか。

③本年度重点事業と
なっている「JR自由
通路新設事業」と駅と
は関係ありますか。
④駅の改築を町長はど
う考えますか。

町長

①広野駅の駅
舎は、昭和12年
12月に完成しています。
こ線橋は、昭和50年11月
に完成しています。

②平成25年度の助成件数
は193件で、助成額は
80万6558円です。

平成26年度の9月9
日時点の助成件数は
155件で、助成額は
87万3200円です。

③JR水戸支社と通路の
構造などについて協議し
ています。

また、自由通路は駅構内
に直接出入りできるもので
はありません。

④JRで行う既存の駅舎
をコンパクト化する事業
での整備を協議していま
す。

無人ヘリ農薬防虫剤散布を実現せよ

遠藤町長／事例を調べ、検討

門馬

町の基幹産業
である農業

も、少子高齢化の影響
を受け60才以上が大部
分ですので、農作業に
心労をいただいている方
もたくさんいます。

特に動噴を背負って
の農薬殺虫剤の散布作
業が大変だと聞いてい
ます。

この現状を解消し、
本町の農地農家の維持
発展のためにも、無人
ヘリ散布事業の制度設
計、実現にむけての支
援策を講じる考えはあ
りますか。

町長

無人ヘリコプ
ターにより病害
虫防除を実施するには、解
決すべき課題があります。

水稻の品種により防除
時期が違うため、品種が混
在していると作業効率が
悪くなること、また、特
別栽培や有機栽培等の栽
培管理を行う農家におい
ては防除に参加しないこ
ともあり、農薬の飛散問題
も懸念されます。

現在、無人ヘリコプター
による防除作業に対する
県の補助事業等防除支援は
ありません。

無人ヘリによる病害虫
防除をしている事例を調
べ、関係機関と検討して
行きます。



町内に多く建設される宿舎

作業員への課税策はないか

遠藤町長／極めて難しい内容

門馬

現在2600
人が町内の施
設を宿泊拠点として経
済活動、労働をして対
価を得ているわけです
から、応分の負担を求
めることはできません
か。

何か方策を調査研究
し、町財政に資する条
例制定の有無を伺いま
す。

町長

地方税法に定
める税目以外

に、条例により「法定外税」
を新設することは認めら
れていますが、作業員の
所得を課税標準として法
定外税を新設することは、
個人住民税との二重課税
となり、一方、所得以外
のものを課税の根拠とし
て新たな税目を新設する
とともに国の同意を得る
ことは、極めて難しい内
容です。

門馬 巧 議員



今年作付けされた水田

協定締結で問題解決を

遠藤町長／双葉地方除染事業等・警察連絡会と協議

畑中 ①原発作業員や除染作業員の宿舍および民間家屋に居住しているのは9月現在何人ですか。

②まわりに見ず知らずの人々が増えることで、どのようなことが問題になっていますか。

③広野町で生活するにはルールを守ってもらう必要があります。

町と協定を締結するべきではないですか。

町長 ①平成26年9月9日現在2847人です。

②ゴミの出し方や生活道路での交通量の増加が問題となっています。仮設の事業所や宿舍から出るゴミは自らが処理するよう広報やチラシを作成し依頼しています。また、交通量の増加に伴う苦情に対しては、交通マナーに対する啓蒙啓発を行っています。

③協定の締結は、双葉地方除染事業等・警察連絡会のなかで協議したいと思います。

賠償はどんな姿勢で臨むか

遠藤町長／国へ強く訴えている

畑中 ①町民はすでに、精神的損害は被っていないと考えますか。

また、精神的損害とは何だと考えますか。

②第2回定例会の町長の答弁で、柔軟的に対応していく旨述べています。

柔軟的に対応とは、賠償についてどういう姿勢で臨むことですか。

③浪江町が町民の賠償増額のために可能性を追求している姿勢、その見習うべきではありませんか。

町長 ①心身共に大きな苦痛を受けていることから、国へ強く訴えています。

また、精神的損害は自宅以外での生活を長期間余儀なくされ、正常な日常生活の維持・継続が著しく阻害されたために生じた精神的苦痛を賠償すべき損害と考えています。

②国からの復興交付金事業を活用することで、様々な支援により町民の生活再建を図っていく考えです。

③ADRに特化した取り組みを行うことは考えていません。



畑中 大子 議員

保護者への説明責任をどう果たすのか

浅野教育長／保護者会の開催を予定

遠藤 ふたば未来学園高校の開設準備のため、広野中学校校舎が変わることに

より子どもたちに不利益が生じるのではないかと心配する声が多く上がっています。

今後の教育環境に対する方針と不安を訴える保護者への説明責任をどのように果たしていくのですか。

教育長 中学生用にフロアブース・施設等を改修し、それぞれ支障のないように調整し、相談室も設置し、教育環境の維持改善に努めています。

また、保護者の意見をいただき、理解をいただくため保護者会の開催を予定しています。

魅力ある学校教育構想に取り組み

遠藤町長／『広野町教育ビジョン』を考案

遠藤 学校を取り巻く状況は、ふたば未来学園高校の開校に加え、国が改正を

目指す小・中一貫校制度など、教育構想の変革期を迎えていると考えます。町として、他の市町村にはない魅力ある幼・小・中の学校教育構想に取り組むべきではないですか。

町長 町独自の教育と幼・小・中一貫した教育構想に取り組むべきと考え、本年度、『広野町教育ビジョン』を考案し、教育構想を具現化するため「小・中学校教職員ワーキンググループ」を組織し、計画づくりに着手しています。

年間1ミリシーベルトを堅持せよ

遠藤町長／引き続き堅持していく

畑中 ①国が年間被ばく線量1ミリシーベルトでなくても大丈夫と言いだしています。

町はこの変化をどのように考えますか。

②モニタリングポストが0・23マイクロシーベルトを超えて表示されることはありませんか。

また、除染に関する基準値は、これまでの年間1ミリシーベルトを堅持しますか。

町長 ①年間被ばく線量1ミリシーベルト緩和の議論は一方的に進められるべきではないと考えます。

②毎時0・23マイクロシーベルトを超える箇所は存在します。対処方法を環境省等と継続的に協議しています。

また、長期的な目標として追加被ばく線量年間1ミリシーベルト以下とする基本方針を引き続き堅持していきます。

家屋敷地内に落葉しない方策を考えよ

遠藤町長／引き続き堅持していく

畑中 ①広洋台に面する6号線沿いの街路樹に関して町政懇談会などで質問はありましたか。

②街路樹に関する作業を、委託するのは県ですか。

③樹木の高さ制限はありますか。

家屋敷地内に落葉しないような方策を考えるべきではないですか。

町長 ①第26行政区長より国道沿いの街路樹の枝払いの依頼がありました。

②街路樹の剪定作業は本年度予算化し、町が行いました。

③架線に触れない範囲で剪定を行っています。個人の敷地内に落葉しないような方策を検討したいと思います。



8月には子どもたちの再会事業を開催

中学校とみかんクラブの連携を図れ

浅野教育長／学校教育から離れ、難しい

遠藤 中学校は、生徒数が少ないことから部活動の種目が少なく活動内容も十分なものとは言えません。

そこで、中学校と総合型スポーツクラブ（みかんクラブ）とが連携することで新たな部活動の創立や活動内容の充実を図ることはできませんか。

教育長 中学生をスポーツクラブ（みかんクラブ）に参加させることは、学校教育の範囲から離れるので部活動としての取り扱いが、難しいところです。

しかし、中学校への指導者派遣などは、今後、協議したいと考えています。



遠藤 浩 議員



ふたば未来学園校建設予定地

原発事故の賠償と見舞金は

遠藤町長／様々な支援で生活再建図る

小磯 町内外での厳しい生活を強いられるなか、他自治体との補償・賠償にかかる整合性はいつ実現するのですか。

①精神的損害賠償10万円継続要望
②国へ見舞金支給要望
③早期帰還者賠償金90万円支給
④田畑の賠償
⑤立木・山林の土地の賠償

町長 ①②③④国や政府、原子力損害賠償紛争審査会に対し、精神的損害賠償の継続、見舞金なる新たな賠償制度の構築および早期帰還者賠償と田畑の賠償の対象範囲の拡大を求めています。

⑤対象区域、対象となる損害、対象となる資産及び賠償金額の算定作業を進めています。

双葉地方の被災町村民の帰還と支援は

遠藤町長／双葉地方8町村が一体で協議

小磯 ①双葉地方8町村を組織する一員として他被災自治体の町村民帰還と支援をどのように判断しますか。

②本町の限界を超えた職務量があり、独立行政法人による計画策定や業務運営も選択肢ではないですか。

町長 ①双葉地方8町村が一体となり、諸問題の解決を図っていくことが双葉地方の復興に繋がるものと確信しています。

②職員の採用はもとより、業務量に応じた派遣職員を含めた職員配置を計画的に進めていきたいと考えます。



小磯 利雄 議員

搬入車両対策は

遠藤町長／安全・安心が得られる輸送経路となるよう調整

小磯 福島県・双葉町・大熊町で除染廃棄物の中間貯蔵施設の受け入れが示されました。

本町を経由する搬入車両による渋滞対策と安全対策に町はどう対処されますか。

町長 ①②国から町に対し、除染廃棄物の中間貯蔵施設への搬入についての説明はなされていません。町民が日常生活に支障をきたすことなく、安全・安心が得られる輸送経路となるよう調整していきます。

公平公正な納税を

遠藤町長／法令に基づき適切に執行

小磯 ①平成25年度末、最終的な不能欠損額は税目別・件数・総額別にいくらか。

②これまで滞納処分、停止、消滅時効や中断はありましたか。

理由と過去10年、年度別総額はいくらか。

③過去10年、年度別の不能欠損処分総額はいくらか。

町長 ①平成25年度は、不能欠損処理を行っていません。

②時効の中断は納付誓約書の提出ならびに滞納金の一部納付などによるものです。

過去10年間の年度別総額は、集計が困難であったことから今回の総額に含めていません。まず滞納処分の停止ですが、平成18年度が

地域で人材を確保せよ

遠藤町長／計画的な職員採用を含め検討

門馬 社会全体で個人の健康を支える環境をつくるためには、保健対策の健康づくりや栄養・食生活の改善推進が重要です。

①保健師の採用は具体的にどのようにしていますか。

町長 ①他の職種と同様に、募集要項の全戸配布、広報ひろのおよびホームページへの掲載を基本としています。

また、福島県立医大など保健師の国家試験の受験資格取得ができる大学二校に募集要項を送付し、校内への掲示を依頼して募集を行っています。

町長 ②管理栄養士は保健師と同様に、町民の健康づくりを進めていく上で重要な職種と認識していますので、計画的な職員採用を含め検討していきたいと思っています。



門馬 まりえ 議員



町民の健康を支える保健センター



老人クラブパークゴルフ大会

地域包括支援センターの機能を強化せよ

遠藤町長／町職員の派遣も含め総合的に判断

門馬 地域包括支援センターの職員体制は3つの専門職種で対応されるものですが、この震災以降、職員体制が整っていますか。

町長 国、県をはじめ、関係機関へ資格職の人員確保を要望していますが、全国的な人材不足もあり、実現にはいたっていません。

今後、町職員などの派遣も含め総合的に判断し、地域包括支援センターの機能強化を図りたいと考えています。

安全宣言はいつか

遠藤町長／新たな町づくりと町の将来の方向性を年内に発信

渡邊 ①放射線に対する不安払拭にどう対応し、住民に説明しますか。

②町民から要望の多い買い物が出来る施設の整備は、どのような形ですすめられますか。

③全ての面で広野町の安全宣言ということが重要と思いますが、その時期はいつになるのですか。

町長 ①専門家による検証委員会が設置され、現在まで3回の委員会が開催されています。

今後は、町内の放射線量の現状評価と内部被ばくなどの健康リスクの検証を行い、町民が安全・安心を得られる取り組みを進めたいと考えます。

②企業とは、その必要性を相互に理解し、店舗規模、設置場所などの詳細な打合せを月ごとに繰り返し行っています。

さらに、経済産業省、福島県の協力をいただきながら事前協議を進めています。

③町民に対し、新たな町づくりと町の将来の方向性を年内に発信していきたいと考えています。



渡邊 正俊 議員



朝夕の時間帯に交通量が増える町内の道路

復旧作業労働者と共生の町づくりとは

遠藤町長／相互理解を深め、協力、協働

渡邊 町民より多くの労働者が町内に居住しています。このよう

な対応で向き合っているのですか。

また、企業との関わりはどのような方針をもって臨んでいますか。

町長 町は、町民の幸せな帰町・復興を確かなものとするこ

とで、広域的な視点に立ち、双葉地方の復旧・復興を牽引、加速させていく重要な役割があります。そして、廃炉作業などに関わる作業員の方々の新しい時代の新たな町づくりの創成を、町民とともに相互理解を深め、協力、協働して復興を成し遂げたいと考えています。

～賠償実現ときめ細やかな支援を～

幸せな帰町・復興へ支援要望



塩崎厚生労働大臣へ救急医療体制の充実や国保の減免措置延長を要望

国および東京電力㈱へ

要望書を提出

平成26年9月24日から2日にわたり、関係省庁の各大臣や議員に要望書を、また東京電力㈱に対しては、要望書をそれぞれ手渡ししました。

議員からは廃炉の着実な取り組みや賠償の実施、国民健康保険税の減免措置延長や高速道路無料措置の継続など多くの要望・意見が出されました。

幸せな帰町・復興のためには、きめ細やかな支援に加え復興を加速することが必要不可欠です。

“幸せな帰町・復興”への支援等について

【要望事項】

- 1 廃炉に向けた取組の着実な実施について
- 2 原子力被害に対する適切な賠償の実施について
- 3 国民健康保険税等の免除に対する財政支援について
- 4 浄水施設への財政支援について
- 5 飲料水に関する安全・安心の確保について
- 6 高速道路無料措置の継続について
- 7 特急「スーパーひたち」の運行再開等について
- 8 道路に関する安全・安心の確保について
- 9 子どもたちを育む環境の整備に対する支援について
- 10 Jヴィレッジの早期再開と機能強化について

【緊急要望事項】

- 1 米の風評払拭対策等について

【要望事項】

- 1 廃炉に向けた取組の着実な実施について
- 2 原子力被害に対する適切な賠償の実施について
- 3 Jヴィレッジの早期再開について
- 4 職員等の住居を町内へ設置すること
- 5 関連企業の事業所を町内へ設置すること

【要望先】

復興大臣	竹下 亘
文部科学大臣	下村 博文
経済産業大臣	小淵 優子
厚生労働大臣	塩崎 恭久
環境大臣	望月 義夫
国土交通大臣	太田 昭宏
原子力災害現地対策本部長	高木 陽介
自由民主党東日本大震災復興加速化本部長	大島 理森
公明党代表	山口 那津男

【緊急要望先】

農林水産大臣	西川 公也
農林水産副大臣	あべ 俊子
農林水産事務次官	皆川 芳嗣

【要望先】

東京電力株式会社代表執行役社長 廣瀬 直己



ま ちかど インタビュー

国道6号線、全線開通の影響は 来年大型連休には高速道路も仙台まで開通予定

東日本大震災と原発事故発生から約3年半ぶりに6号国道全線で一般車両の通行が可能となりました。

経済活動の活性化や復興加速につながると期待される一方、課題もあります。

今後は高速道路の開通も予定されています。感想を伺いました。



たむら こういち
田村 弘一さん
(上浅見川・大谷内)

桜田交差点の改良等道路の整備も各所で進んでいますが、災害時の避難誘導がスムーズに実施できるようさらなる整備と万が一に備えることが重要だと思います。

6号国道が通行可能になったことは、皆さんが待ち望んでいたことです。これまでは通行証が必要で制限があり不便でした。しかし、双葉郡内の治安が心配です。防犯カメラの設置がされてはいますが、警備の強化が必要。



改良工事が行われている桜田交差点



こはた かつひろ
木幡 勝廣さん
(下北迫・東町)

6号国道開通の日に南相馬市へ向かい車で通行しました。

富岡町以北の国道脇には災害にあった家や壊れた車がそのままだけついたり、脇道への入口付近にバリケードが置かれ、警備の人々が多数配置されていて、恐怖にも似た気持ちになりました。

放射線量の高い大熊町や双葉町の状況があるのに通行を可能にしたことへの疑問と通行した車の除染が必要なのではないかと思っています。

編集後記

月日の流れは早いものである。あの震災原発事故から3年6カ月が過ぎてしまいました。そんななか、我が町の再生に向けて一条の光が見えてきました。

10月中旬には災害公営住宅への入居が始まります。また、駅東側整備事業も始まります。さらには、ふたば未来学園高校の建設地も決まり、町の姿も少しずつではあるが確実に変わろうと歩み始めたようである。

一方では、町の基幹産業でもある農業も昨年を上回る154町歩の田んぼに作付けがあり収穫期を迎え稲穂が黄金色に染まりたわわに実った姿は豊作のようであるが、手放しで喜べない米価下落がありここは政治の出番が望まれる。

この議会だよりが皆さんの手元に届く頃は、10月中旬頃になるでしょうから山野も秋の色を帯び、どこかうら寂しさを覚えることでしょう。

しかし、お互いここで暮らしていてもふる里広野の水・空気・風景を忘れることなく復興再生のため今出来ることを精一杯しようではありませんか。

(門馬 巧)

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

委員長 渡邊正俊
副委員長 北郷幹夫
委員 塩 史子
委員 渡辺久長
委員 門馬 巧
委員 畑中 大子
委員 小磯利雄

次の定例会は12月です